

# 自然環境調査報告書（概要）

平成 16 年 3 月

渋谷区環境清掃部

環境保全課

# 目 次

1 章 調査の目的等	
1.1 調査の目的 .....	1
1.2 調査の枠組みと調査の手順、内容 .....	1
1.3 調査の範囲と地域区分 .....	2
2 章 調査結果の概要	
2.1 緑被現況調査 .....	4
2.2 公園・緑地等現況把握 .....	5
2.3 屋上緑化状況 .....	6

# 1 章 調査の目的等

## 1.1 調査の目的

本調査は、区全域の平面的な緑等の分布状況・緑被地の動態を把握することを目的として、以下に示す項目の検討を行った。

緑被地等の分布の状況

用途地域ごとにみた緑被状況の把握

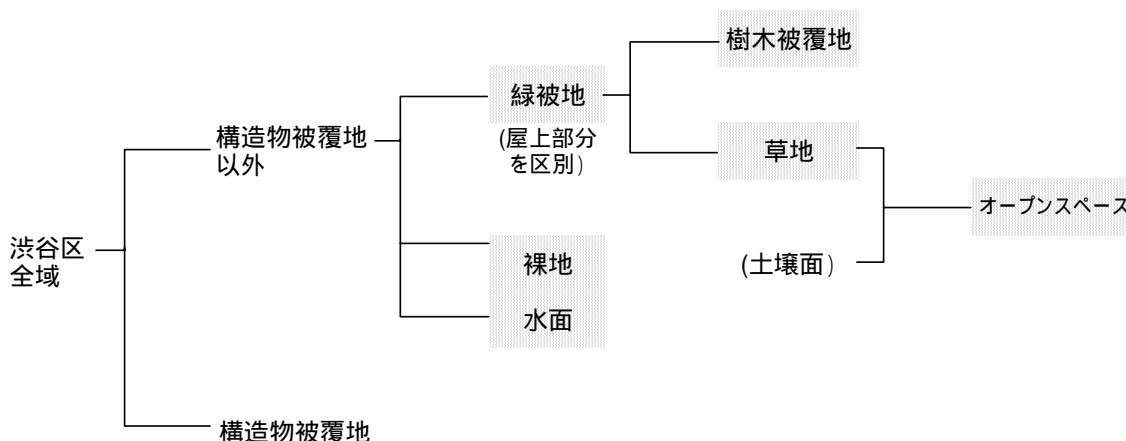
前回調査（平成 10 年度）からの緑被地の推移

## 1.2 調査の枠組みと調査の手順、内容

本調査は渋谷区全域を対象として行った。調査方法は以下のとおりである。

### 緑被現況図の作成

「緑被率標準調査マニュアル」（昭和 63 年、東京都環境保全局）に基づき、空中写真（平成 15 年 6 月撮影）から、10 m<sup>2</sup>以上の緑被地を抽出し（〔水準 〕）、1/2,500 地形図上に示した。判読項目は、樹木被覆地、草地、裸地、水面部とした。下図に緑被地等の分類を示す。



「構造物被覆地」とは、建物やコンクリートなどで被覆された土地を指します。ただし、屋上部分の緑被地は含まれていません。

図 1.1 緑被地等の分類

## 面積の求積

面積求積は、地理情報システム上でデータ作成し、緑被地等の分類に基づいた各分類のポリゴンにたいしてデジタル計算を行った。

## 面積集計

緑被地の面積集計は、町丁目を基本単位として、地域別、区全域で集計を行った。用途地域区分については区分ごとの面積集計を行うとともに、緑被現況結果とクロス集計し、用途地域区分ごとの緑被地等状況を把握した。

### 1.3 調査の範囲と地域区分

本調査は渋谷区全域（行政面積：1,511.21ha）を対象として行った。なお、集計に際しては、町丁目単位のほか全区を6地域に区分した。地域区分と構成町丁目は次のとおりである。

#### 氷川・新橋地域（面積：284.19ha）

恵比寿一丁目	恵比寿二丁目	恵比寿三丁目	恵比寿四丁目
広尾一丁目	広尾二丁目	広尾三丁目	広尾四丁目
広尾五丁目	東一丁目	東二丁目	東三丁目
東四丁目	渋谷一丁目	渋谷二丁目	渋谷三丁目
渋谷四丁目			

#### 大向・恵比寿地域（面積：272.43ha）

恵比寿南一丁目	恵比寿南二丁目	恵比寿南三丁目	恵比寿西一丁目
恵比寿西二丁目	代官山町	猿楽町	鉢山町
鶯谷町	桜丘町	南平台町	道玄坂一丁目
道玄坂二丁目	円山町	神泉町	松濤一丁目
松濤二丁目	神山町	宇田川町	神南一丁目
神南二丁目			

#### 千駄ヶ谷・神宮前地域（面積：247.48ha）

千駄ヶ谷一丁目	千駄ヶ谷二丁目	千駄ヶ谷三丁目	千駄ヶ谷四丁目
千駄ヶ谷五丁目	千駄ヶ谷六丁目	神宮前一丁目	神宮前二丁目
神宮前三丁目	神宮前四丁目	神宮前五丁目	神宮前六丁目

#### 代々木地域（面積：265.72ha）

代々木神園町	富ヶ谷一丁目	代々木一丁目	代々木二丁目
代々木三丁目	代々木四丁目	代々木五丁目	

初台・西原・上原地域（面積：262.51ha）

富ヶ谷二丁目	上原一丁目	上原二丁目	上原三丁目
西原一丁目	西原二丁目	西原三丁目	元代々木町
大山町	幡ヶ谷一丁目	笹塚一丁目	

本町・笹塚地域（面積：178.88ha）

初台一丁目	初台二丁目	本町一丁目	本町二丁目
本町三丁目	本町四丁目	本町五丁目	本町六丁目
笹塚二丁目	笹塚三丁目	幡ヶ谷二丁目	幡ヶ谷三丁目

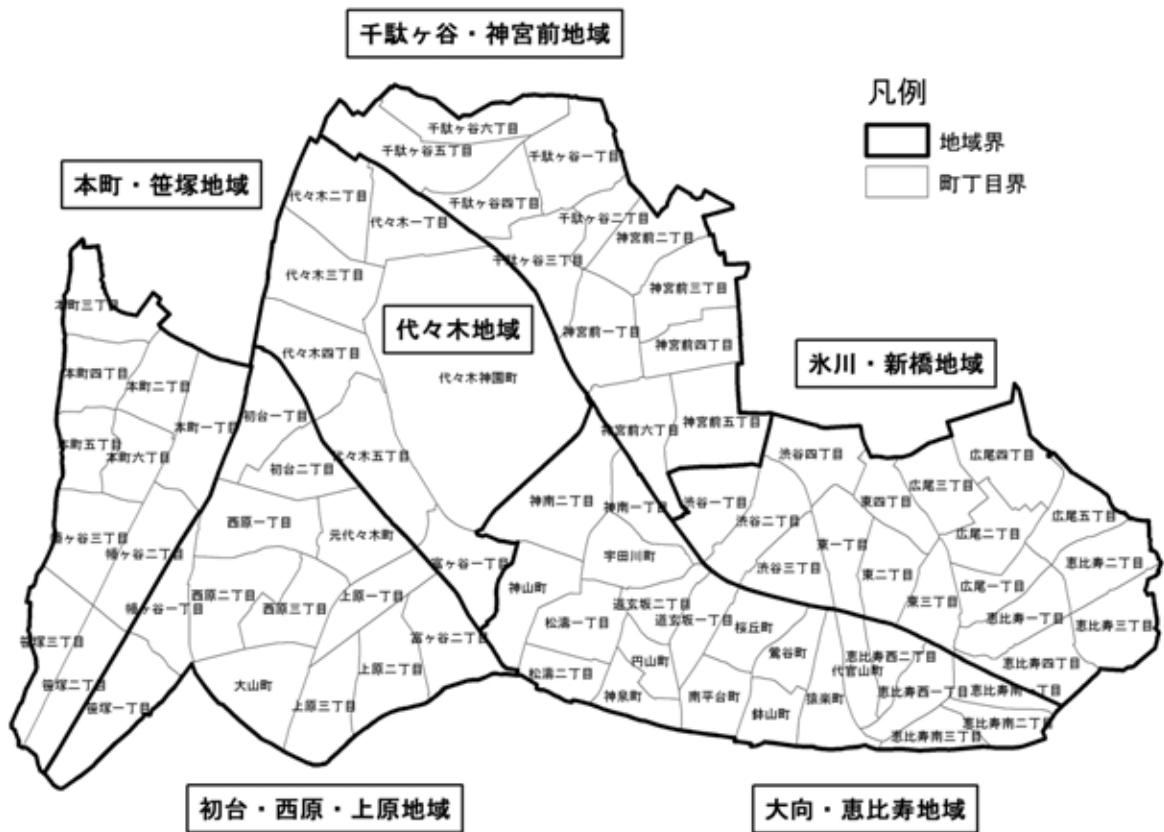


図 1.2 渋谷区の町丁目と地域区分

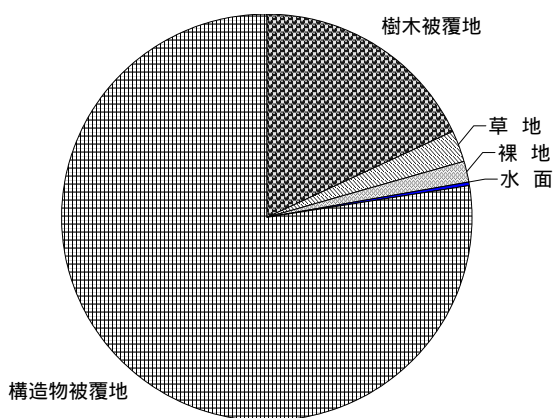
## 2章 調査結果の概要

### 2.1 緑被現況調査

平成15年6月撮影の空中写真による渋谷区の緑被等の現況は、次のとおりである。

表 2.1 分類別緑被地等面積

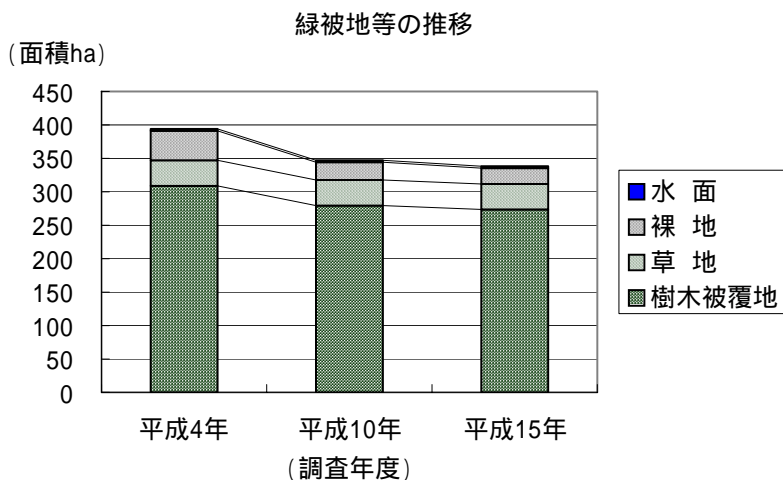
分類		面積(ha)	構成比(%)
緑被地	樹木被覆地	273.47	18.1
	草地	37.53	2.5
	計	311.00	20.6
構造物被覆地以外	裸地	24.17	1.6
	水面	3.62	0.2
	計	338.79	22.4
構造物被覆地		1,172.42	77.6
合計		1,511.21	100.0



構成比の合計値は、末尾の桁の四捨五入により100%にならないことがある。

図 2.1 渋谷区の緑被等被覆状況

渋谷区全体の緑被面積：311.00ha、緑被率：20.6%



緑被率の推移で見ると、この5年間で21.1%から20.6%と0.5ポイント減少している。この緑の減少傾向は前期と比べると、ほぼ横ばい傾向にある。

図 2.2 渋谷区の緑被面積等の推移

## 2.2 公園・緑地等現況把握

区内の公園・緑地等は国立、都立の公園緑地等を除き、108箇所ある。総面積16.1haの公園・児童遊園地・緑道が現存する。

区分別にみると公園が57箇所、面積比64.3%を占める。次いで児童遊園地が45箇所、面積比24.5%、児童遊園地が11.2%である。

種別でみると街区公園が箇所、面積とも最も多く、99箇所、9.5haで、箇所比91.7%、面積比59.1%を占めている。

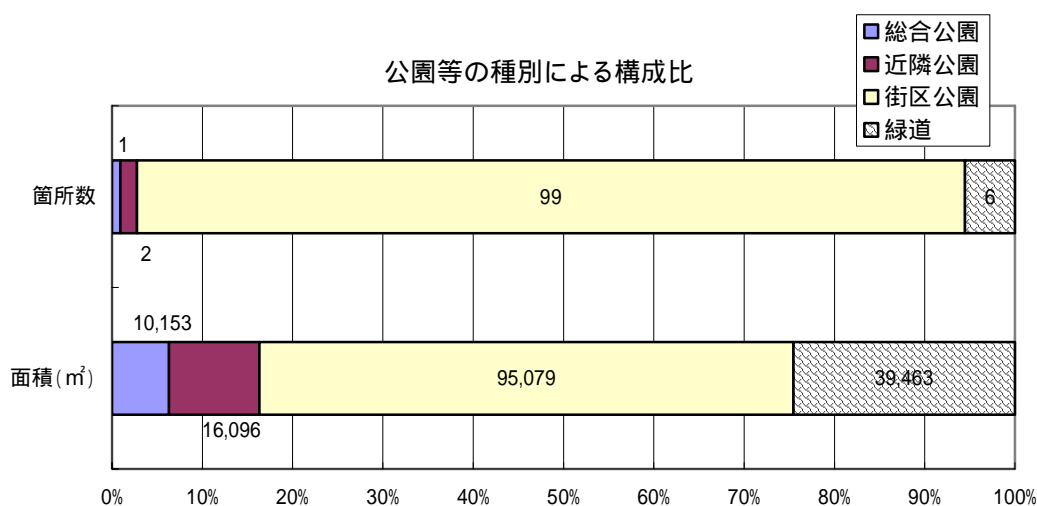
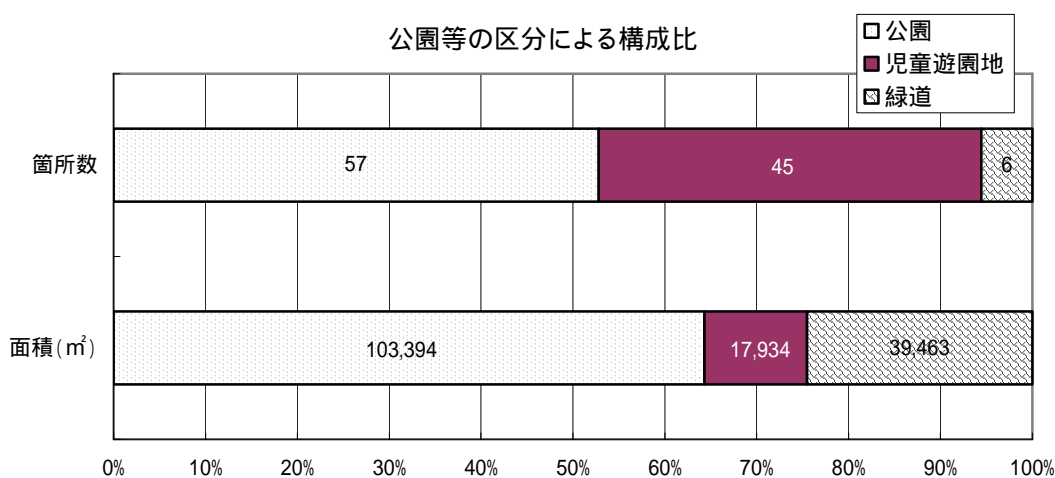


図 2.3 渋谷区の公園・緑地等の構成比

## 2.3 屋上緑化状況

区内の屋上緑化面積は 2.46ha である。そのうち樹木で被覆された屋上緑化面積は 1.35ha で、草地で被覆された屋上緑化面積 1.11ha よりも多い。区全体の緑被地に対しては 0.79% となっており、全体の緑被地に対する寄与度はまだ小さい。

地域別に屋上緑化を見ると、最も多いのが大向・恵比寿地域の 0.88ha で、区全体の屋上緑化面積の 36% を占めている。最も低い地域は、本町・笹塚地域の 0.05ha で、区全体の 2% である。

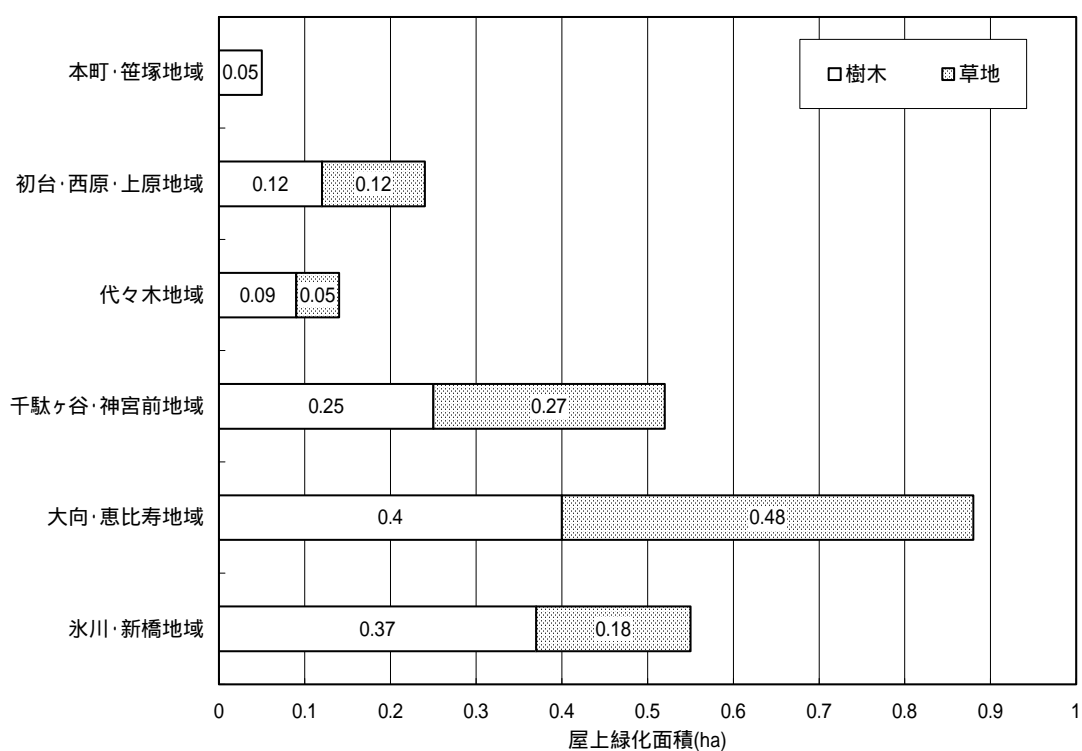


図 2.4 地域ごとの屋上緑化面積